

E S D 銀河セミナー：広島・長崎に向けた3回シリーズ

（開催趣旨）

オバマ米大統領は、2009年4月5日のプラハの演説で「私は、アメリカが核兵器のない平和で安全な世界を追求する決意であることを、信念をもって明言します。」と述べました。この演説は、核兵器全廃をはじめアメリカの政策目標とした点で、さらに、アメリカには「核兵器を使用した唯一の核保有国として道義的責任がある」と述べた点で、21世紀の歴史的演説となる可能性があります。

このオバマ演説を唯一の被爆国である日本として、いかに受け止めるか、また、それは世界にどんなインパクトをもつのか、日本語訳、オリジナルテキストの内容を紹介しつつ語り合います。未来を担う学生として、どう受けとめ行動するかも話し合います。

大学生協 Peace Now（長崎・沖縄）への学生派遣に取り組む「岩大生協学生委員会」との連携企画です。岩大生のみなさん、核兵器や世界平和について一緒に考えてみませんか？

第31回 E S D 銀河セミナー

「核兵器全廃：オバマ大統領のプラハ演説を語る」

菊池孝美（人文社会科学部教授）、西崎滋（人文社会科学部教授）
梶原昌五（教育学部准教授）

日時：2009年6月25日（木）18：10～19：40（11・12限）

場所：学生センター棟G18教室

- ・ なぜプラハなのか？
- ・ 核不拡散条約とは？
- ・ 核分裂性物質とは？
- ・ 日本にとってのオバマ演説の意味は？

第32回 E S D 銀河セミナー

「核兵器全廃：オバマ大統領のプラハ演説（英文）を語る」

斎藤博次（人文社会科学部教授）、小林葉子（人文社会科学部准教授）
ジェームズ・ホール（教育学部准教授）

日時：2009年7月9日（木）18：10～19：40（11・12限）

場所：学生センター棟G18教室

- ・ 英語としてのオバマ演説
- ・ 異文化を越えるパワーの源は？
- ・ アメリカ市民の立場から
- ・ 世界にとってのオバマ演説の意味は？

第33回 E S D 銀河セミナー

「学生の立場から、オバマ大統領のプラハ演説を語る」

岩手大学生協学生委員会

日時：2009年7月23日（木）18：10～19：40（11・12限）

場所：学生センター棟G18教室

- ・ 学生による広島・長崎への取組
- ・ 昨年の広島・長崎行動に参加して
- ・ 学生の立場からプラハ演説を語る
- ・ 学生として何をすべきか？